

平成22年度 第5回安曇野市文化振興計画策定専門委員会 会議概要

- 1 協議会名 平成22年度第5回安曇野市文化振興計画策定専門委員会
- 2 日 時 平成23年3月4日 午後1時から午後3時まで
- 3 会 場 安曇野市豊科交流学習センター“きぼう”学習室1
- 4 出席者 笹本委員長、笠原委員、薩摩委員、倉石委員
- 5 市側出席者 竹内文化課課長、山田文化振興係長、那須野文化財保護係長、三澤文化振興係主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成23年3月5日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - 1 協 議
 - (1)文化振興計画素案について
 - 2 閉 会 (竹内課長)
 - 2 協議概要
 - (1) 文化振興計画素案について
 パブリックコメントにより寄せられた意見について
 意見1について
 委員・・・第5章に盛り込んではどうか。
 委員長・文章のトーンが異なってしまうので、ここはこのままの文章でいきたい。
 意見2、3について
 委員長・この部分については、良い写真があれば入れていきたい。
 意見4について
 委員長・先人の枠が拡大してしまう。バランスからもこのままで良い。
 委員・・・全員が先人である。分けておいたほうが良い。
 意見5、6について
 委員・・・良い写真があれば入れればよい。
 委員長・雰囲気を大事にしたい。
 意見7について
 委員長・ここまで細かくする必要はない。図書館は入れても良いが、ギャラリー・工房は入れない。
 意見8について
 委員長・「資料」に全て含まれる。「美術作品」というように枠を狭める必要はない。
 委員・・・「促進」という言葉を入れても良いが、文章が変になる。
 委員長・このままで良い。
 意見9について
 委員長・わざわざ先人と文化人を分ける必要はない。
 委員・・・美術作品・学術資料というように限定しない方がよい。具体的なことを書くところではない。
 意見10について
 委員長・「山岳写真」「自然写真」というように写真の分野を、さらに「写真文化」と枠をひろげている。
 委員・・・これは生かしたい。
 意見11について
 委員・・・我々も前回、言葉に迷った。
 委員長・幅を広げるために「書誌」という言葉を選んだ。これでは逆に範囲を狭めてしまう。
 委員・・・「書誌」の概念を狭くとらえている。
 委員・・・書誌資料のままでよい
 意見12について
 委員長・具体的な活動の話であって、整備充実の中でこれも含まれる。文章として入れる必要はない。

意見13について

委員長・これは意見の話である。文章はこのままで良い。

意見14、15について

委員長・これはこの計画には関係のない話である。

欠席した委員の意見

「ビジョンに描きながら」という文章は変。「ビジョンを描く」のが一般的である。はっきりしない文章である。

委員長・「地域振興」・「観光振興」をとったほうが良い。

事務局・「ビジョンを描き、安曇野市の文化行政を計画にまとめてみます」とする。

『文化』とは、人が自然とのかかわりや・・・という文章に違和感がある。

委員・「人と自然とのかかわり」とした方がよい。文化は人がいなければ生まれない。

「学芸員の雇用の確保、専門的な人材について触れたほうが良い」

事務局・「専門的な職員を確保した方が良い」ということだと思う。

委員・リーダーバンクやボランティアの前に、専門的な職員の確保を入れたい。

委員長・具体的な施策の例示の前の文章に書いてあるが、具体的に示すのか。

委員・前回の会議で職員について話したと思う。

委員長・具体的な取り組みの中に、専門的な人材の確保を入れておきたい。

委員・専門的な職員がいて、はじめてリーダーバンクやボランティアの充実となる。

委員・専門的な職員を専門委員会として要求するというにしたい。

委員の意見

委員・「文化振興の推進体制」について、ここが重要なところである。安曇野ならではの文化をまとめているが、推進体制をもう少し深めておきたい。

委員長・具体的に話して欲しい。

委員・「市民は文化の担い手であると自覚し、文化芸術を創造し・・・」としたい。この計画の次の展開の時に、市と市民の役割が明確となると思う。団体の役割についても分かりにくい。

委員長・全体の役割分担を明白にするために、団体は○○します。行政は○○します。というように明確にしたい。もう一度文章を推敲して欲しい。

委員・この推進体制は市民と市が一体となって進めるということ盛っておきたい。

委員長・団体の役割が分からない。

委員・団体が併記しているため分かりにくいのだと思う。学校は・・・。団体は・・・。企業は・・・。とするのが良い。

委員・市民、団体の役割を書き、行政のなすべきことを載せてはどうか。

委員長・市は責務を果たすというようにする。市民、「団体は研鑽を積み・・・」と書き、市民の負担も求め、責任の所在をはっきりさせて、「市は○○する」というように言い切るようにした方がよい。

委員・条例の制定が大事。ここを断定するようになっておくべき。

委員・行政がやることであれば、市民に思われないようにしなければならない。市民の役割も書くべきである。

委員長・他所には無いはっきりした計画となる。「市民は主役で、研鑽に努めます」とまで書いたほうがよい。

委員・市民はそれができないなら、次の段階のことを求めるべきでない。これは努力目標である。

委員長・努力は、市民の主観的なものだからいいのではないか。主役は市民。団体は個別に特徴的なことを書くというようにまとめなおしたい。

委員・学校は分けて、文化芸術団体・NPO法人は併せて良いと思う。

委員長・文案は出来上がったところで再提示するというにしたい。

第1章について

委員・具体的な事例が入りわかりやすくなった。

委員長・具体的な話を上げて他所と違うものにしたい。

第2章について

- 委員・・特には無いが、「伝統文化・古文書」というように列記しているが、なぜ古文書だけ具体的なことがあげられているのか？
- 委員長・古文書「等」としているの、限定しているわけではない。
- 委員・・必要ならば書誌として幅広くしてはどうか。
- 委員長・書誌等とすると具体的なものが見えなくなる。このままで良いと思う。

第3章について

- 委員長・良い写真を載せる部分にする。
- 事務局・それぞれのページを2ページ程度に増やす予定。

第4章について

- 委員長・「古文書」という概念だけでいくのは難しい。「古文書など」とした方が良い。
- 委員・・「文化芸術施設の運営」のうち、「運営方法の見直し」について、よりよいサービスの提供というのは、料金を安くして開館時間を長くするということになりそうであるが、保存・管理・研究という役割もなる。公開することが善ではない。
- 委員長・「利用効率を考えながら」というのはどうか。
- 事務局・「多様なニーズを集約し」というのはどうか。
- 委員長・「多様な意見をとりまとめ」というのが普通だろう。
- 事務局・「柔軟で効率的な施設運営に努め」とすればどうか。
- 委員・・サービスや時間についてはカットし、「施設運営に努めます」としたい。

- 委員・・早春賦音楽祭の「本ステージ」とは何か？
- 委員長・分かるように書いて欲しい。関係者のみしか分からない表記は改めたほうがよい。

- 委員・・地域文化について、「地域の風土と歴史の中から生まれ」としたい。伝統はカットして良い。

- 委員長・「多様な文化との交流」の中の「諸団体」に、例えば信州大学は入るのか？
- 事務局・入ってもらう予定です。
- 委員・・「諸機関・諸団体」とするとよい。

第5章について

- 委員・・「行政は・・・をとり組みます」とあるが、これを（１）としてはどうか。いまのままではとってつけたような感じがする。
- 委員長・「行政は責務を果たします」となるので、そのようにして良いと思う。ここの（１）で行政の役割を述べておきたい。
- 委員・・意見交換の場だけでなく、機会作りを入れねばならない。「機会作りの場を設けます」というように。
- 委員長・「市民・芸術家」と分ける必要があるのか？
- 委員・・市民・芸術団体として、芸術家を除いて良い。芸術家の定義は無い。作品を作って生活している人だとすると、ほとんどの人が芸術家ではなくなってしまう。
- 委員・・文化芸術団体だけでよいのか？他のページとの整合性は？
- 事務局・市民・団体・行政等としてもよいのでは？
- 委員・・市民・文化芸術団体・NPO法人としても良いと思う。
- 委員・・前述の団体の表記と合わせたほうが良い。
- 委員長・ちょっとくどいくらいの方が理解しやすい。前述の表記にあわせることにする。

- 委員・・体制図について、「協働」の部分は同じ色にしたほうが良い。
- 委員長・協働の部分が一番大事。目立つようにしたい。
市民委員の思いの一文を最後に載せたい。専門委員の意見も思いをこめて寄せて欲しい。字数については、事務局より今後連絡する。
この市民委員会は市にとって良い財産である。何かやる時に使えるので、できるだけ引き続き参加してもらえるようにして欲しい。

